

学術集会提出用の学会録 (proceedings) の書き方

企画講演用：特別講演・教育講演・招待講演・シンポジウム・
ランチョンセミナー・サテライトセミナーなど

(2011年改訂)

(2014年改訂)

下記の要領でまとめ 月 日迄にお送りください (学会当日ご持参でも可)

原稿の送り先 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65 名古屋大学神経内科内
日本末梢神経学会事務局 編集委員長 宛

- 1) 要旨は必ずしも必要ありませんが、テキストが長い場合500字以内の要旨をご用意ください。タイトル、名前、所属については英文表記を記載してください。
- 2) 本文の構成ははじめに、目的、対象・方法、結果、考察、(結論あるいはまとめ)を原則としますが、講演内容に応じて総説的に項目を挙げていただいて結構です。本文は8000字以内でお願いします。
- 3) 文献は30個以内でお願いします。
- 4) 図・表は合わせて6個以内でお願いします。
- 5) 原稿は印刷したものをオリジナル1部、コピー1部(図表を含む)と、電子媒体のデータをお送りください。
- 6) 電子媒体のデータには作成した機種、ソフトウェア、そのバージョンを必ず記載してください。
- 7) 表紙には和英併記で、表題、著者名、所属、連絡先、キーワード(5つまで)を掲げてください。
- 8) 図・表には必ず表題(必要に応じて簡単な説明も)をつけて下さい。また、組織標本には染色法と必要に応じてscale barをつけてください。写真は原寸大で印刷出来る大きさで、かつ鮮明なものとして下さい。原則として写真は白黒でお願いします。
- 9) 図・表などの転載は、その旨を明記し、許諾については著者自身で行ってください。
- 10) 文献は本文中に用いられたもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号をつけてください。また、文献には学会抄録は含まず、下記のように記載してください。学会発表の抄録や投稿中の論文などは引用しないでください。
- 11) 引用文献の著者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、ほか、あるいは *et al.*としてください。
- 12) 原稿が上記規定に添わない場合、修正が求められることがあります。掲載は無料ですが、規定ページ数超過分、カラー印刷については所定の額を徴収します。

引用文献例

- 1) Michalsen A, Bock S, Lüdtke R, *et al.* Effects of traditional cupping therapy in patients with carpal tunnel syndrome: a randomized controlled trial. *J Pain* 2009; 10: 601-608.
- 2) Amirjani N, Ashworth NL, Watt M J, *et al.* Corticosteroid iontophoresis to treat carpal tunnel syndrome: a double-blind randomized controlled trial. *Muscle Nerve* 2009; 39: 627-633.
- 3) Leavitt JA, Younge BR. Diseases of the third, fourth, and sixth cranial nerves. In *Peripheral neuropathy*, 4th ed, ed by Dyck PJ, Thomas PK. Vol2, Diseases of cranial nerves, Elsevier Saunders, Philadelphia, 2005, p1191-1206.
- 4) 平田 仁. 手根管症候群と肘部管症候群 病態, 診断, 治療. *臨床神経* 2007;47:761-765.
- 5) 寺崎久泰, 安東由喜雄. 腫瘍形成性局所アミロイドーシス. アミロイドーシスの基礎と臨床, 池田修一編, 金原出版, 東京, 2005, pp253-257.
- 6) Mucha C, 平澤泰介. 外傷性総腓骨神経不全麻痺に対する電気刺激療法の検討. *Peripheral Nerve* 2009; 20: 7-16.